

# 総合的な鳥獣害対策推進のための交付金予算の確保

【担当省庁】 農 林 水 産 省

## 奈良県における取り組み

- 野生鳥獣による農林水産業の被害防止に向け、市町村を中心に地域ぐるみで取り組む**4本柱の活動**を総合的に進めてきました。
- 令和元年度より、鳥獣被害が拡大しつつある地区等において、普及指導員が防止対策指導にあたり、地域住民が集落ぐるみで被害対策に取り組む活動を支援

### 総合対策の4本柱

- 1) 人材の育成
  - ① 地域指導者の育成
  - ② 地域における狩猟者の確保・育成
- 2) 生息環境管理
  - ① 里地里山の環境整備活動の推進
  - ② 生息環境に配慮した森林の整備及び保全活動の推進
- 3) 被害の防除
  - ① 有害鳥獣を寄せ付けない環境づくり
  - ② 農林地等への侵入防止柵の設置
- 4) 個体数調整
  - ① 第二種特定鳥獣管理計画に基づく個体数管理
  - ② 有害鳥獣の捕獲・駆除
  - ③ 捕獲獣の適正処理と有効活用



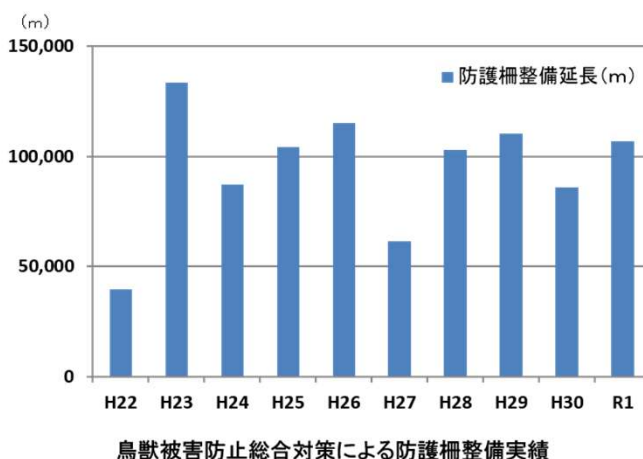
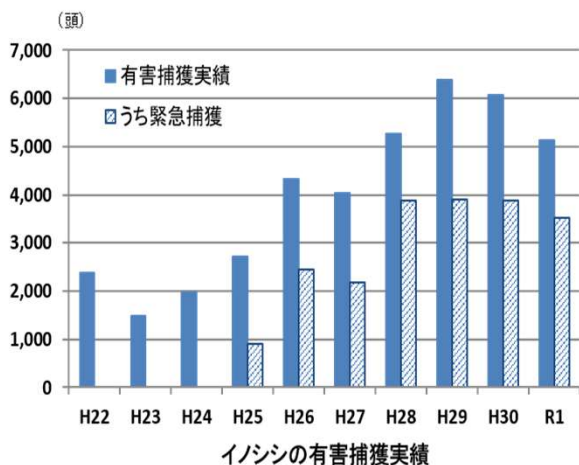
ICT捕獲檻活用研修会



捕獲檻の設置作業

### 鳥獣被害防止総合対策交付金による事業の実施

令和元年度 25協議会 交付決定額 216百万円  
 令和2年度 25協議会 交付決定額 202百万円



## 【優良事例】

### 鳥獣被害防止施設整備



共同作業による  
防護柵(ワイヤーメッシュ柵)の設置



テキサスゲート  
(シカ・イノシシの蹄が間隙に挟まるため、  
圃場への侵入を防止)

ワイヤーメッシュ柵3,200m、テキサスゲート  
3カ所を一体的に整備したことで、

- ・ 維持管理の省力化、作業の効率化
- ・ 交通の利便性確保を実現



グレーチング

防護柵とテキサスゲートの設置箇所

設置場所: 古田2団地 (五條市)

## 国にお願いすること

被害をさらに減らすには、  
捕獲と防護の両輪による継続的取り組みが必要です。

### 要望内容

鳥獣被害防止総合対策交付金のうち緊急捕獲活動  
支援事業については、令和3年度予算を確保いた  
だきましたが、有害捕獲実績は依然高い水準なので、  
今後とも継続的かつ十分な財政支援をお願いします。